

学校法人 東京聖徳学園

聖徳フラッシュ

第127号

令和5年8月1日

発行 学校法人 東京聖徳学園 千108-0073 東京都港区三田3-4-28 TEL.03-5476-8811(代)



聖徳学園ホームページ https://www.seitoku-u.ac.jp/gakuen/

- 聖徳大学大学院
- 聖徳大学附属小学校
- 聖徳大学教職大学院
- 聖徳大学附属幼稚園
- 聖徳大学
- 聖徳大学附属第二幼稚園
- 聖徳大学短期大学部
- 聖徳大学附属成田幼稚園
- 聖徳大学幼児教育専門学校
- 聖徳大学附属浦安幼稚園
- 光英VERITAS高等学校
- 聖徳大学三田幼稚園
- 聖徳大学附属取手聖徳女子高等学校
- 聖徳大学八王子幼稚園
- 光英VERITAS中学校
- 聖徳大学多摩幼稚園

聖徳フラッシュ SEITOKU FLASH

「保育表現研究発表会」を四年ぶりに開催

大学・短大・専門学校

INDEX

- ▼ 学園……………47
- ▼ 大学院・大学・短大……………12348
- ▼ 幼児教育専門学校……………158
- ▼ 光英VERITAS中・高……………58
- ▼ 幼稚園……………678
- ▼ インフォメーション……………378



短期大学部保育科「生命」～蜂～



教育学部児童学科「アラビアンナイト」

七月八日(土)、本学体育館において「保育表現研究発表会」を四年ぶりに全学で開催しました。本発表会では、教育学部児童学科幼稚園教員・保育士資格取得希望者、教育学部スポーツ教育コース、心理・社会福祉学部社会福祉学科保育士資格取得希望者、短期大学部保育科、幼児教育専門学校による創作舞踊、さらに四年生の卒業論文の芸術系ダンス領域である身体表現作品が披露されました。観覧席からは一年生、教職員、保護者の約五百名が温かいエールを送りました。

この発表会は、「保育の聖徳®」を象徴する身体表現の発表会であり、大学三回、短期大学部五十六回、専門学校は五十九回目を迎える伝統ある行事のひとつです。創作舞踊は、芸術教育の一端を担っています。「無」から可視化できる作品に仕上げる学びは、豊かな感性を育み、ダンス技術の向上、団結力の大切さ、問題解決力が養われる活動です。幼児教育者に必要なムーブメント学習の総仕上げとして位置づけられています。

幼児教育者には、子ども一人ひとりの個性に即した総合的な指導力を持つことが要求されます。学生たちは、この経験を活かし、豊かな表現指導に創意工夫ができ、協調性のある指導者に成長していきます。

「千葉県誕生百五十年記念行事 オープニングイベント」で ワークショップを開催

大学・教育学部児童学科

六月十一日(日)、「千葉県誕生百五十年記念行事 オープニングイベント」が松戸市で開催され、児童学科の大成ゼミの学生が21世紀の森と広場で「カラフルアートカーテン」のワークショップを行いました。今年は、千葉県が明治六年に誕生してから百五十年の節目の年になり、県内各地で記念事業が実施されます。自然の中でアートを楽しむ「アートパーク」や「松戸ア

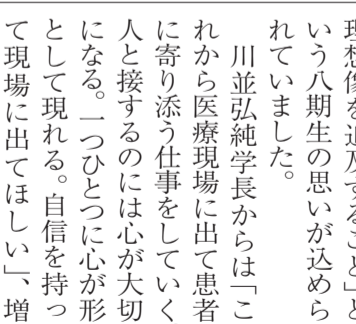
トピックニック」の実績から県より声がかかり、今回の参加となりました。学生は三、四年のゼミ生十九人が参加。朝の準備では、雨が降っていました。開始時刻にはやみ、事前に学生が作った作品、当日子どもたちが作った作品でアートな空間を生み出しました。また、六つの傘を組み合わせて作るアンブレラボールも二十個配置し好評でした。できた空間で鑑賞を楽しんだり、



大学・看護学部看護学科 第八回 ナース・スチューデント認証式

大学・看護学部看護学科

七月八日(土)、聖徳大学川並香順記念講堂において、看護学部三年生の「第八回 ナース・スチューデント認証式」を開催しました。今年度は四年ぶりに保護者も参列することができました。この式典は、秋学期からの本格的な臨地実習の開始に向けて、人の命に真摯に向き合い、看護学生として「最善のケアを提供しながら臨地で実習する」という決意を表明するとともに、今後医療に携わる人間としての責任感や使命感を自覚し、看護の心を引き継いでいくことを目的としています。学生たちは基本的な看護技術試験を終え、秋学期からの本格的な実習に向けて「認証バッジ」授与、ナイチンゲールに由来する看護の心を象徴する「キャンドル」



トピックニック」の実績から県より声がかかり、今回の参加となりました。学生は三、四年のゼミ生十九人が参加。朝の準備では、雨が降っていました。開始時刻にはやみ、事前に学生が作った作品、当日子どもたちが作った作品でアートな空間を生み出しました。また、六つの傘を組み合わせて作るアンブレラボールも二十個配置し好評でした。できた空間で鑑賞を楽しんだり、



川並純学長からは「これから医療現場に出て患者に寄り添う仕事をしていく人となる。一つひとつに心が形として現れる。自信を持って現場に出てほしい」と、増井三夫副学長からは「誓いの言葉に患者の輝きになりたいのだと感じた。臨地実習では患者さんとのコミュニケーションの中で言葉にならないことに心を寄せる体験をする。よき看護師となる一歩を踏み出してほしい」と、水戸学長補佐兼看護学部長からは「看護はどんな時でもどんな場所でも希望の火であることを忘れないでほしい。誓いの言葉で述べた凜とした看護師になるためには、自分はいかに

何を学習していけばよいのかを実習の中で考えてほしい。いろいろな事にチャレンジしてほしい」との激励の言葉がありました。これから始まる本格的な臨地実習に向けて決意を新たにする一日となりました。



短期大学部・保育科

学外研修Ⅱ(北海道研修旅行)を一週間の行程で実施

六月四日(日)から十日(土)、短期大学部保育科第一部二年生と第二部三年生を対象に学外研修Ⅱを実施しました。この学年は一年次の学外研修はコロナ禍で全て中止となっており、学生生活最初で最後の学外研修旅行が北海道の大地で行われました。

このプログラムは聖徳教育の一環で、研修旅行での経験・体験を通して知性を高め、視野を広げる等、豊かな人間性を育むことを目的としています。

二日目に訪れた旭山動物園では、初めて見る動物には学生たちの目が輝き、ペンギンが実際に卵を温めて



オホーツク流水氷館にて



旭山動物園でペンギンを観察



民族共生象徴空間ウポイにて



渡辺体験牧場で牛と記念撮影

の説明に興味津々に聞き入り、自然の神秘を感じ取っていました。

五日目には民族共生象徴空間ウポイを訪れました。ここではアイヌの文化を展示しているだけでなく、アイヌの伝統芸能などのパフォーマンスを見学できたり、アイヌ文化を体験できたりと、先住民族の文化を五感で感じることができました。

全ての宿泊地で受けた心温まるおもてなしに学生たちは感激し、名湯につかり、美味しい料理に舌鼓を打ち、全てに満足していたようです。

今年の短縮行程から、今年度は六泊七日のフル行程に戻り、初日こそ冷たい雨に見舞われましたが、その後は概ね天気に恵まれ、充実した学外研修となりました。

大学

めざせ教職の道!

「ようこそ先輩」

六月三日(土)、学校現場で活躍されている卒業生を迎え、教職を目指す学生と語り合う「ようこそ先輩」を開催しました。

第一部の全体会は、教職実践センター長の河村久教授から主旨説明があり、続いて十八名の先輩から自己紹介と近況報告がありました。十八人十八様の豊かなパフォーマンスに、会場の学生は引き込まれていきました。

さらに、Yes&Noコーナーでは、聖徳大学のオフィシャルキャラクターが描かれた団扇を使って回答してもらいました。「Yes」の場合には、「リーン」を、「No」の場合には、「ファイ」の面を後輩の学生に見えるように示します。「採用選考の勉強はかなり頑張ったと言えますか?」「No」を「ファイ」の面がちらほら混じりました。「後輩にも教職を勧めたいと思いますか?」「リーン」の面が揃いました。



教職現場の魅力が伝わってきた時間でした。

その後、全員での写真撮影を行いました。先輩方を囲んで、和気あいあいとした雰囲気の中で、笑顔が溢れる記念写真となりました。

大学・教育学部児童学科

松戸子育てフェスティバル

保育者のタマゴのSTORY TIME ～おはなしであそぼう

五月二十八日(日)、松戸市民劇場他で開催された「松戸子育てフェスティバル」において、児童学科学生を中心に「保育者のタマゴのSTORY TIME」をおはなしであそぼうを実施しました。

「松戸子育てフェスティバル」は、子育て中の家族を応援するために、市内の子育て支援団体と松戸市が共同開催するイベントです。コロナ禍のため、四年ぶりの開催となった今回の子育てフェスティバルは、松戸駅周辺の五会場を使って開催され、各会場では学生たちが運営ボランティアとしても活躍しました。

「保育者のタマゴのSTORY TIME」おはなしであそぼうは、絵本「くものすおやぶんとりものちゅう」の読み聞かせと、絵本にちなんだ遊びで、おはなしの世界を十二分に楽しんでもらうというものです。クモの巣を模した「的あて」、クモの糸を引っ張ってお菓子を当てる「千本くじ」、塗り絵や切り絵、工作等、学生たちが考えたさまざまな遊びを用意しました。

初めてボランティアに参加する学生もいましたが、周りのスタッフや親子の様子が楽しそうだったので、参加してみたいと意欲を高めていました。



第二部は、三つのグループに分かれて具体的な情報交換を行いました。学校現場の様子や採用選考に向けての勉強について笑いがあつたり、頷きがあつたりしながらの会でした。あつという間の二時間半。先輩とのメールアドレスを交換する姿があちこちで見られました。教職への道を勝ち取ろうと誓うことができた会、それが「ようこそ先輩」です。



大学・人間栄養学部

令和五年度 船橋市食育展

ゼミ活動で地域貢献

船橋市では、六月の食育月間にちなみ、食育関係団体と連携して「食育展」が六月十二日(月)イオンモール船橋を皮切りに、船橋市役所、保健福祉センターで開催されました。

食育展のテーマである「食育の「わ」を広げよう！」に沿った展示の他、六月十七日(土)、十八日(日)にイオンモール船橋でイベントが開催されました。

「今年も楽しみに来ましたが」「聖徳大学と見かけてやってきました」と初参加の方に加え、リピーターや卒業生・在学生も駆けつけてくれました。



ゼミ生のほとんどが初の地域でのイベント活動だったため、初めは緊張していましたが、多様な人々、組織との連携活動の中で、生き生きと動きだす姿が見られました。各自の成長に繋がる何かを掴んでくれたものと期待しております。

野菜・果物摂取の促進は、生活習慣病等の予防の観点から多くの地域の課題となっています。本イベントの取り組みが少しでもそれらの課題改善に役立つよう、また調査研究結果を地域社会に還元できるよう、引き続き学生たちと励みます。

聖徳大学短期大学部 総合文化学科 だより

フードマネジメントコース1年生

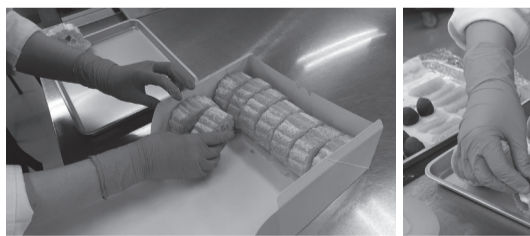
製菓授業紹介

授業が始まり約四ヶ月、一年生のコックコート姿も少し様になってきました。一年生の春学期に行っている「製菓実習入門」では製菓に必要な基本的な技能、また専門的な作業用語(フランス語)を覚えながら作業をします。

①計量 お菓子を作る前、一限から四限まで通して行う実習に最初は学生たちも戸惑っていましたが、六月に入ると学生たちの動きが格段に良くなってきます。それではどんなことができるようになってきているのかを順を追って見てみましょう。



最初はバタークリームを使って絞りの練習



自分たちでデコレーションしたホールケーキ

③基本技能 お菓子では絞る、塗る、のぼすという三つの基本技能に加え、泡立てる、混ぜる、カードやゴムベラを使ってパウダーに入っている生地やクリームを残さずに取るといった基本作業があります。これらの項目を基本生地や基本クリームを作りながら習得していき、いまではホールケーキのデコレーションもできるようになりました。これからの技術を磨き、いろいろなお菓子を作っていきます。

大学・松戸キャンパス

防災だより

煙道体験を実施

六月二十三日(金)十二時十五分より、松戸キャンパスの中庭で煙道体験を実施しました。火災発生時に落ち着いて避難できるよう、テント内に訓練用の煙を充填し、煙の中の避難を疑似体験することが目的です。

当日は松戸市中央消防署のご協力のもと、学生、教職員約八十名が参加しました。参加した学生は、「煙で視界が想像以上に悪くて驚いたが、良い経験になった」と話していました。また消防職員からは、「火災に気付いたらまずは大声で周囲に知らせる事。またハンカチやタオルで口と鼻をおさえ、



低い姿勢で避難をする事」など参加者に火災発生時の避難におけるポイントを指導していただきました。災害はいつ発生するか分かりません。今後も学生、教職員の防災意識の向上と防火・防災体制の強化を図

るために、さまざまな体験や訓練を計画していきます。皆様も、日頃から避難先や避難方法を確認し、もしもの時に落ち着いた行動ができるようにしておきましょう。



コンピュタ・ミュージック コンテストを開催します。 U18 DTM甲子園 2023. 聖徳大学音楽学部 presents. 詳細は実施要項をご覧ください。 [U18 DTM 甲子園 2023] ご応募は8月1日から8月31日まで。

聖徳大学音楽学部は、18歳以下のみなさんを対象に、コンピュタ・ミュージックのコンテスト「U18 DTM甲子園2023」を開催します。自分一人で作った7分以内の楽曲が審査対象となります。YouTubeに限定公開でアップして、そのURLをお送りください。歌や映像があってもOKです。金賞、銀賞、銅賞の方には副賞もあります。また、入賞作品にはエイベックス・エンタテインメント(株)ゼネラルプロデューサー、油井誠志氏からコメントが送られます。音楽業界へのファースト・ステップを踏み出しましょう。

女子高校生の皆さん! 聖徳大学の図書館を利用してみませんか? Open Library. 聖徳大学川並弘昭記念図書館. 利用可能日時: 月曜日~金曜日 9:00~17:00 / 土曜日 9:00~15:00. 館内での自習/図書・雑誌を読む、コピーする/Wi-Fi利用ノートPC持込可.

お問い合わせは図書館まで 〒271-8555 千葉県松戸市岩瀬550 TEL:047-365-1111 (代表) URL: https://www.seitoku.jp/lib/ SEITOKU LIBRARY 図書館 Instagram

募金だより

「聖徳学園創立九十周年記念募金」のご案内

本学園は、令和五年に創立九十周年を迎えます。これまで、学園を支えていただいた多くの皆さまに、深く感謝申し上げます。

本学園はこれから先の百年、さらには未来を見据え、新たなステージへ躍進するため、教職員一丸となって邁進する所存です。

皆さまにおかれましては、今後の本学園の建学の精神「和」に基づく諸活動への取り組みに対し、ご賛同・ご支援いただき、ご寄付という形でのご協力を賜りますようお願い申し上げます。具体的なお取組の内容につきましては、次号にてご紹介いたします。

ご協力ありがとうございます

「聖徳学園創立九十周年記念募金」寄付者芳名一覧

- 法人役員関係
一〇〇,〇〇〇円
神本 忠夫 様
大学後援会関係
一〇〇,〇〇〇円
田代 和子 様
香和会関係
一〇〇,〇〇〇円
川崎 眞佐代 様
三〇,〇〇〇円
韓 曉娟 様
教職員関係
一〇〇,〇〇〇円
川並 知子 様

「聖徳教育學術振興募金」寄付者芳名一覧

- 取引業者関係
一〇〇,〇〇〇円
住友不動産株式会社 様
光英VERITAS
中学校・高等学校関係
一〇〇,〇〇〇円
大島 義和 様
匿名希望者合計
(二二〇,〇〇〇円)
合計
二,二二〇,〇〇〇円
四件
累計
六一三件一七六三九一、七五二円

(注)公開をご希望されない方については、掲載していません。令和五年六月末までに寄付が特定できなかった方を掲載いたします。



お申し込み・お問い合わせ先
東京聖徳学園 募金課 TEL.047-365-1111(代)
ホームページアドレス https://seitoku-u.ac.jp/donation/

聖徳 募金 検索

同窓会連合会

「聖徳学園 菊水会」

第二十二回 評議員会を開催

聖徳学園菊水会は、幼稚園から大学院までの各同窓会および卒業(園)生が相互の連絡・親睦を図ることを目的に、平成十五年に聖徳学園創立七十周年を機に組織された十三団体から成る同窓会連合会です。会員数は約十七万人です。



六月十日(土)、聖徳大学十号館において第二十二回評議員会および懇親会を開催しました。当日は各同窓会を代表して二十五名の評議員が出席しました。評議員会では、令和四年度収支決算・事業報告、令和五年度収支予算・事業計画の協議が行われました。本年度の事業計画として、卒業(園)生への記念品贈呈、各イベントにおけるクリアファイルの配布、役員研修会の実施等が承認されました。続いて各同窓会から会の取り組みについて近況

報告がされました。久々に対面での懇会を実施し、卒業(園)生が教員や同窓生と再会できた喜びや、新たなツールを使用した卒業生とのつながり方について話がありました。今後の活動について、文化祭等の学校行事に同窓会としての企画参加を再開したいと意欲的な活動を望む声も聞かれました。



その後は十四階に会場を移して懇親会を開催し、情報交換が活発に行われ、同窓会同士の親交を深めることができました。今後も、同窓生が生き生きと社会で活躍できるように支援活動を続けていきます。

聖徳大学児童学研究所講演会

「自閉症児の行動特性と教師の指導の在り方」

六月十七日(土)、聖徳大学において、本学児童学研究所研究員・甲斐聡准教授が講師となり、児童学研究所主催講演会「自閉症児の行動特性と教師の指導の在り方」小三男児の転落事故の判例を素材に」を開催いたしました。当日は、

対面とオンラインによるハイブリット形式で行い、約百名が参加しました。今回の講演会では、特別支援学級における自閉症児の転落負傷事故のケースを題材として、自閉症児の特性も考慮に入れ、事故の原因や背景を明らかにし、「学

校教員側の指導のどこに不注意(過失)があったかを考えていながら講演されました。講演内容は、「聞いておいてよかった」なるほど」と思えることばかりでした。学校の責任は事故による子どもの被害の軽重よりむしろ、事故になる前に当然すべきことが行われていたのかという問題や、教師の供述の信憑性などにかかっていることを、事例を通して詳しく学ぶことができました。



保健センター 所長だより

いくつかの感染症に 気を付けましょう

二〇二三年五月八日に、新型コロナウイルス感染症が感染症法における五類となりました。その後、季節はずれの感染症が流行しています。例えば、通常は冬に流行するインフルエンザウイルス感染症が、春から初夏にかけて流行いたしました。また、通常は夏から秋より流行するRSウイルスが、春に流行しました。また夏風邪の代表とも言えるヘルパンギーナも春から流行いたしました。このように、二〇一九年十一月から二〇二三年まで

のコロナ禍では、あまり見られなかったいくつかの感染症の流行が認められています。この原因の一つとして、コロナ禍では、不織布マスク着用や外出の自粛などで、新型コロナウイルス以外の感染症が激減したために、これらのウイルスの対する免疫が少なくなったことが考えられています。感染症の予防の基本は、ご存知のように「手洗い」です。従いまして、登園時、登校時、出社(校)時、食事前、トイレ後、帰宅時などこまめな手洗いが、大切です。また、感染症の流行時には、特に三密になる場合に、不織布マスク着用が、有効な飛沫感染対策となります。日常生活では、野菜・果物を十分に摂取し、バランスの取れた食事、適切・十分な睡眠も大切です。どうぞ、新型コロナウイルス感染症も含めたいくつかの感染症にご留意いただき、うとうとしい夏を乗り切ってくださいと思います。(所長 宮川 三平)

令和5年度 聖徳大学 香和会 行事予定
第56回 香和会総会
時間: 総会/11:30~ 懇親会/12:30~ (※10:30~)
場所: 聖徳大学 三田キャンパス アリスアクアガーデン 田町店 (※三田キャンパスの見学)
支部交流会 日程予定一覧
北陸・上信越支部/甲州・東海支部 [合同開催]
日程: 8月27日(日) 12:00~14:00
場所: 聖徳大学 10号館13階「スパンカ」 ※11:00~ 大学キャンパスの見学
北海道・東北支部
日程: 10月1日(日) 14:00~16:00
場所: 仙台ガーデンパレス3階コンベンションルーム
南関東支部
日程: 10月9日(月・祝) 12:30~14:30
場所: 聖徳大学 8号館3階「アミティエ」
北関東支部
日程: 10月29日(日) 13:00~15:00
場所: 大宮パレスホテル 2階「端麟」
九州・沖縄支部
日程: 11月4日(土) 12:00~
場所: ホテルJALシティ那覇 1階「ボナベティ」
近畿・中国・四国支部
日程: 12月9日(土) 12:00~
場所: ホテル阪急インターナショナル 2階「春蘭門」
(お問い合わせ) 聖徳大学 香和会
TEL/FAX: 047-366-5084
E-mail: kouwakai@wa.seitoku.ac.jp
時節柄、中止や変更があります。HPでご確認ください。 www.seitoku-kouwakai.com

幼児教育専門学校

フオローアップ研修会を開催

五月二十一日(日)、卒業生のための「フオローアップ研修会」を新校舎にて開催しました。



育園、母子生活・障害者支援施設の三グループの勤務先にそれぞれ分かれ、現場の状況、仕事のやりがい、大変さを語り合いながら、職種別に理解を深めました。卒業生の中には、参加者のいるいな話を聞く中で、自分だけが抱えている悩みでは無いことに気がつきほっとする姿も見られました。

この三月に卒業したばかりの新卒者は就職して数か月間、毎日必死に頑張っている様子が、また二・三年目の卒業生からはキャリアを積み上げつつ日々奮闘している様子が伺えました。研修会の第一部では自身の近況を一人ずつ発表しました。第二部は幼稚園、保



第三部はクラスの同窓会となりました。級友や恩師と親睦を深め、また明日から頑張る力を得ることができた一日となりました。

自宅外学生支援の会を実施

六月二十二日(木)、「自宅外学生支援の会」を実施しました。

自宅外から通学している学生の出身地は、富山県、神津島、八丈島などさまざまです。住み慣れた地を離れ、単身で学生生活を送る中、共通して大変さを感じる点も話し合いの中で多くありました。生活に慣れるまでに時間がかかったこと、健康管理、食事や睡眠、

余暇時間の管理に加え、洗濯物や宅急便の受け取り、買い物等を一人でしなければならぬ苦労をお互いに分け合うことができました。毎日安否を案ずる家族のありがたさに感謝しつつ、卒業に向かって最後まで学校生活を頑張れるようにと、校長、教員、先輩から、初めて自宅外で生活する学生たちにエールを送ることができました。

光英VERITAS中学校・高等学校

台湾 弘文高級中学との交流会実施

五月二十四日(水)に台湾台中市にある弘文高級中学校から二十四名の生徒(中学三年八名、高校一年十三名、高校二年三名)と引率の先生が来校しました。弘文高級中学とは、令和四年度からオンライン交流をすすめて数回行っており、念願であった対面の機会を得ることができました。

到着後、まずは本校六年生(高二)が中心になって準備をした歓迎会を行い、両校の学校紹介、そして出し物の発表では本校生徒は校歌を合唱し、弘文高級中学からは日本語の曲を披露してくれました。最初はお互いに遠慮がちに話をしていましたが、歓迎会の後に行った日本文化体験授業(書道、海苔巻き作り、筆、生け花)、生徒によるガイド付き校内施設見学など共に同じ時間を過ごすことで、昼食時には笑いながら雑談をするまでに打ち解けることができました。午後は、



「コロナ禍が私たちの生活にどのような影響を与えたか」というテーマでのディスカッションを中高別に行い、意見を交換し合いました。フアシリテーター役の本校教員、そして通訳の方から助けを得ながら、英語、日本語、中国語、そしてジェンチャーなど、自分たちが使える言語をフル活用してお互いの考えや思いを伝えようと努力し、異文化交流を行うことができました。見送りの際は、何度も握手をし、バスに向かって手を振りながら別れを惜しんでいました。

取手聖徳女子高等学校

全校で校外学習 信州の旅

SEITOKU Challenge Camp (SCC)

六月一日(木)から三日(土)、SEITOKU Challenge Camp (SCC)を全校で実施しました。

一日目は学年で行き先を分け、五年生(高二)は丸木美術館、四・六年生(高一・高三)は富岡製糸場を見学しました。

富岡製糸場では現地の解説員のガイドで、当時のままに残っている操糸所や繭所などを見学しました。午後は、宿泊先である「かすが

高校二年 平和学習

SCCの初日に、五年生(高二)は、十一月の九州修学旅行の事前指導として、東松山市にある原爆の図丸木美術館へ行ってきました。

丸木美術館は、画家の丸木位里・丸木俊夫妻の共同制作「原爆の図」をはじめ、戦争や公害など、人を傷つけ破壊することの愚かさを夫妻が生徒に向けて描き続けた作品が展示されています。

美術館を訪れるにあたり、五月二十五日(木)に湯澤義文校長より「九州修学旅行に行く前に、学び・考えておいてほしいこと」と題した講話が行われました。講話の最後は「丸木美術館はみんなが共に生きていく中で、守らなくてはならない大切なものを考えさせてくれる大切な場所であると思う。ただ、うわべだけの感



情だけを持ち帰るのは、違うと思う。十一月の長崎につないでほしい。」と締め括られました。実際に鑑賞した生徒からは、「その日その瞬間に何があって、何が人々を苦しめ、どんな感情だったのかを想像しながら見ることで他人事だと思え



富岡製糸場で説明を聞く生徒たち

の自由散策です。出発前から行きたい場所やおいしい食べ物調べ、念入りに計画を立てていたグループが多かったようで、目いっぱい時間を使い、たくさんのお土産を手にとり満足そうなお顔を集合場所に戻ってくる姿が印象的でした。また、学年を超えて一緒に写真撮ったり、楽しそうに交流したりする様子も見られました。今回の経験と学びを、ぜひ今後の学校生活に生かしてほしいと願います。

賞ができてうれしかったとの声がかげられました。最終日は、生徒たちが楽しみにしていた旧軽井沢で

なくなつた「絵に添えられている詩がより一層痛みを鮮明にさせていて痛くなるような気がした」絵は何も言わなくても伝わってくる憎しみや苦しみがありました「原爆は敵も味方も関係なく落とされたものであり、複雑な気持ちになりました」「今までに教科書で見たような戦争の絵とはまた違った霧困気だったことに驚いた。細かい描写に戦争の悲惨さが込められ



附属小学校

世界の富岡製糸場を見学

群馬といえば、「かかあ天下とからっ風」。明治時代に栄えた絹産業が、群馬の女性に依存する部分が多かったことに由来する言葉だそうです。女性の力が社会を支えていたことの証です。その群馬県富岡市にあるのが、世界文化遺産の富岡製糸場。六年生たちが、六月十二日(月)、校外学習の道中に見学しました。

富岡製糸場は、明治政府が建設した日本初の器械製糸工場です。全国から集めた工女に、生糸生産の技術を教えていました。中学二年生くらいの若い工女もいたそうです。附属小学校が見学に来るようになったのは、世界遺産に登録される以前のことです。当時の



富岡製糸場を見学する児童たち。

まま残されている富岡製糸場を、ぜひ児童に見せたいという思いから始まりました。コロナ禍や宿泊先の「かすがの森」工事により中断していましたが、四年ぶりに見学できました。

伝統技術「縄縄え」を体験

縄を「縄う」。聞きなれない言葉ですが、撚りをかけて、縄などをつくることを表した言葉です。禍福は糾える縄のごとしという、「糾う」と同じ意味です。今回、四五・六年生がワラを使った伝統技術「縄縄え」を、セミナーハウス「かすがの森」で体験しました。

四本のワラを二本に分けて、それぞれ「撚り」をしながら、時計回りに巻いていきます。言葉では説明しきれないので、広報委員会の児童が動画を制作し、児童のiPadに配信する事前学習も行いました。当日の指導者は、地域の



方々です。材料のワラは、普段から、体験用に保管しているのだそうです。私たちに与ってワラは普段、手にすることのできない貴重な材料

見学を終えた六年生女子児童は、「富岡製糸場のことは知っていました。でも詳しくは知りませんでした。今回、じっくり見ることができました。実物の工場やフランス式操糸機の実演を見て、当時の様子を感じることができました」と感想を述べていました。

明治後期、工女たちに歌われた「工女節」に、「男軍人女は工女、糸をひくのも国のため」という一節があるそうです。製糸業が富国強兵の外貨獲得源であったことや、富岡製糸場以外の多くの工場において、過酷な労働環境に耐えて働いた工女がいたことも覚えておく必要があるでしょう。

富岡製糸場は、明治政府が建設した日本初の器械製糸工場です。全国から集めた工女に、生糸生産の技術を教えていました。中学二年生くらいの若い工女もいたそうです。附属小学校が見学に来るようになったのは、世界遺産に登録される以前のことです。当時のまま残されている富岡製糸場を、ぜひ児童に見せたいという思いから始まりました。コロナ禍や宿泊先の「かすがの森」工事により中断していましたが、四年ぶりに見学できました。

Facebookにて動画で紹介しています。



幼稚園短信

聖徳大学三田幼稚園

えがおがいっぱいたのしかったね
ふれあい参観

六月十七日(土)、新園舎で初めてとなる参観を行いました。子どもたちは、保護者の方と一緒に遊べることを楽しみにしていて「今日来る日?」「一緒に〇〇して遊ぶんだよ」と数日前から心待ちにしている様子が見られました。

当日は、保護者の方と手をつなぎながら登園し、子どもたちが、日頃遊んでいる園庭を紹介したり、クラスの間を教えたたり、こども図書館や遊戯室などに案内したりする姿が見られ

大好きな園庭遊び!!

本園の子どもたちは、園庭遊びが大好きで、晴れた日は元気な声が園庭に響き渡ります。満三歳児ひまわり組の園児たちは、登園すると「きょう、おそといける?」「おそとはやくいきたいな」と、園庭で遊べることをとても楽しみにしています。教員が「お外で遊びましょう」と声をかけると、喜んでクラス帽子をかぶり、園庭へ駆け出して行きます。



園庭では、はだしやビーチサンダルで大型遊具や三輪車、鉄棒などで体を動かして遊んでいます。砂場では、友達と協力して大きな山を作ったりトンネルを掘ったりする姿も見られ、夏になると、水遊びから泥遊びに発展することもあります。また、園庭は自然が豊かで、季節の草木を眺めたり、虫探しをしたり、落ち葉や木の实拾いをしたりと、季節の移り変わりを感じな

とが少なかつたように感じます。今後は、子どもたちがより意欲的に取り組める環境を整え、保護者の方の成長をした子どもたちの姿を見ていただける場を設けながら、親子ともに楽しい幼稚園生活を送れるようにしていきます。



この四年間、新型コロナウイルスの影響で園行事の開催方法を変更せざるを得ないことがたくさんありました。その都度今できることを考え運営をしてきました。園に保護者が来園する機会や親子で一緒に遊ぶこ

聖徳大学附属浦安幼稚園 友達と一緒にやるのは楽しいね 生活発表会

六月八日(木)、九日(金)、「生活発表会」を開催しました。今年も、四年ぶりに四学年分の内容をプログラムに入れ、保護者の観覧を二回に分けて行いました。保護者や祖父母の方々も自分の子どもや孫だけでなく、他学年のリズム遊びや合奏を観覧する事で年齢による発達の違いや、リズム表現の違いを見ることができ、感動しているようでした。

入園、進級から五十日足らずの幼稚園生活での成長ぶりに満面の笑みで温かい拍手を送っていました。

園長の挨拶後、五歳児松組の「はじめのことば」で会が始まりました。満三歳児パンダ組は初めての舞台発表でしたが、大きな声で返事をして好きなポーズをする事ができました。三歳児桜組は「もりのおふろ」のリズム遊びをしました。自分の好きな動物の役を選び楽し



満3歳児 パンダ組

んでリズム表現をしました。恥ずかしくて、せりふが小さな声になった子どもも見られましたが、ストーリーを理解して発表していました。四歳児梅組は「こびとくつや」の「リズム遊び」と「歌と合奏」を発表しました。「歌と合奏」を発表しました。楽しんで行おうとの楽しさを感じながら表現しました。合奏では新しい楽器に挑戦して頑張る姿も見られました。



5歳児 松組

聖徳大学多摩幼稚園 ハッピーランチデー (合同給食)

本園では毎月一回、全園児で給食を食べる「ハッピーランチデー」を今年度から開始しました。子どもたちはこの日をとても楽しみにして、朝から同じバスコイスの友達に「〇〇ちゃん、一緒に食べよう」と誘ったり、前年度の担任の先生に「今日は久しぶりに一緒にごはんが食べられるね」と声をかけたりしています。

十二時の給食の時間が近づくと園長先生から「今日はハッピーランチデーです。遊戯室まで来てください」と放送が入ります。子どもたちは「やったあ」「給食できたんだね」と大喜びで遊戯室へ向かいます。遊戯室

の入り口には今日の給食のメニューが掲示してあり、「レストランみたいだね」と大喜びでした。五歳児松組のお兄さん、お姉さんは、三歳児桜組や満三歳児ひまわり組の園児に「一緒に食べようね」「(席は)こっちだよ」と優しく席に案内をし、箸を置いたりタオルを畳んだりお世話をしています。「いただきます」をして食べ始めると、箸の持ち方を教えたり、「お皿を持つといいよ」と進んで声をかけています。松組や四歳児梅組の園児たちも小さい友達が見ているおかげか、いつもは苦手な物も「おいしいよ」と食べたり、いつもよりたくさんおかわりをしたりと張り切って食事をしていました。合同給食は楽しいだけでなく、「食育」にもなり、



「みんなで食べておいしい」「食事のマナーなどの社会性」好き嫌いをしないで栄養バランスよく食べること」など異年齢の子どもたちの交流を通して身に付けているようです。子どもたちは「早くハッピーランチデーにならないかな」と毎月楽しみにしています。



聖徳大学附属幼稚園 大学のお姉さんと一緒に健康診断

本園では、学校教育法に基づき、毎年六月までに「健康診断」を行います。園医に園児たちを診察していただき一人ひとりの健康の確認をします。今年度は初め

の試みとして、本大学看護学部の学生たちが健診のサポートをしてくださりました。歯科健診では四年生七名が、健康診断では、授業の一環として一年生七十一名が参加しました。四年生は、園児たちへ優しく話しかけ誘導し口腔内がよく見えるように顔を支え、記録を担当しました。

今回エントリーしたのは将来小児看護を希望する学生たち。看護実習の経験が活かされ、とてもスムーズに進行し頼もしさを感じられました。一年生は入学後二回目着用のピンクのユニフォーム。初々しさと初めての幼稚園に期待と緊張が伝わってきました。園

聖徳大学附属第二幼稚園 大学との連携

本園では、六月と二月に発表会があります。そこでは、リズム遊びや歌、そして四歳児・五歳児は、カスターネットやスズ、トライアングルなどを使っての合奏も披露します。その発表会に向けて、六月二日(金)、聖徳大学音楽学部音楽学科の山本真理子教授から合奏についての指導を受けました。今回は、園児ではなく教員対象の指導日です。

幼稚園の教員がピアノ譜に楽器のリズムを書き加え、合奏の楽譜を作り、それをもとに教授の指導を受けながら、どのように演奏すれば良いのか、曲の雰囲気や園児の技術的な能力などを



考慮して、合奏の楽譜を完成させていきます。また、音の鳴らし方や持ち方なども専門知識のある教授から技法を得ることにより、幼稚園の教員も正しい知識と技能を身に付けることができるのです。

本園は、大学の附属幼稚園であり、大学との連携が図れることも本園の「強み」の一つです。実習生として大学生が幼稚園で学んだり、幼稚園の教員が大学教授から指導や助言を受け、それを保育に生かしたりするなど、他の幼稚園には無い取組を行っています。

専門の先生方に直接指導を受けられる環境にあることに、感謝するとともに、今後も聖徳大学グループのひとつの園として、大学との連携を図り、教員が学びの幅を広げ、その結果が聖徳教育に繋がるよう心がけてまいります。

聖徳大学附属成田幼稚園 四年ぶりの「おじさまおばあさまの会」を開催

六月十三日(火)、四年ぶりに「おじさまおばあさまの会」を開催しました。新型コロナウイルスの影響で、おじい様やおばあ様が幼稚園に

来園することができず、この三年間は、オンラインで開催していましたが、今年度は、たくさんのおじい様やおばあ様をお招きすることができました。

初めに看護学部の学生たちと交流した園児たちは、お姉さんたちの優しさに触れ喜んでいました。特に低年齢の園児は、対一のかかわりに安心感をもって受診ができました。今後も「保育の聖徳」である大学・短大の様々な学部と、幼稚園とのつながりが広がることを期待しています。



迎え、手をつなぎ遊戯室へ誘導すると、とても喜ばれ、「ありがとう」と何度もお礼を言うてくれました。

この発表会に向け、歌や合奏、リズム遊びの活動を続けてきた園児たちは、張り切って舞台にあがり、拍手や大きな声で台詞を言うことができました。

おじい様やおばあ様が、笑顔と拍手で応援してください、いつも以上の力を発揮していただくように見えました。

終了後は、四歳児梅組・五歳児松組が花道をつくり、お見送りをしました。「上手だったわよ」と声を掛けてくださったり、頭をなでたり、タッチしながら笑顔で歩く、おじい様やおばあ様を見て、満足している様子がわかりました。

園児たちは、おじい様やおばあ様が大好きです。いつまでも元気でいて欲しいと園児とともに教職員も心から願う日となりました。

森と湖のヒーリングリゾート

山梨県南都留郡山中湖村平野 506-96

山中湖ガーデンヴィラ

● 期間限定オープン ● 7/14(金)~9/24(日)

山中湖は、標高1,000メートルにあり、真夏の8月でも平均気温は21.3℃と避暑地として最適です。宿から山中湖畔へは徒歩10分程度です。湖畔の散策や、サイクリング、釣り、ボート、水陸両用車の乗船などのアクティビティーが楽しめます。

学園料金 1泊無料朝食付 大人 6,500円~
(10名以上のグループプランは6,000円~)

詳細はホームページでご確認ください。
山中湖ガーデンヴィラ

https://www.yamanakako-garden.com

インターネット宿泊予約受付中!!

お問い合わせは TEL. 0555-62-3111

通信教育部(共学) 令和5年度 秋学期生募集

お問い合わせ 047-365-1200 (直通)

- 聖徳大学大学院 通信教育課程
 - 児童学研究科 児童学専攻 [博士前期課程/博士後期課程]
- 聖徳大学 通信教育部
- 聖徳大学短期大学部 通信教育部

聖徳大学・短期大学部で 取得可能な免許・資格

教員免許	大学・短大卒業資格 幼稚園 小学校 中学校(英語・国語・社会) 高等学校(英語・国語・地歴・書道・福祉) 養護教諭
資格	保育士 社会福祉士(受験資格) 精神保健福祉士(受験資格) 公認心理師(大学) 認定心理士 准学校心理士 心理相談員(基礎資格) 児童福祉司※要実務1年 児童指導員 心理判定員・児童心理司 図書館司書 学芸員 社会福祉士事

通信教育部では、令和5年度秋学期生の募集を開始しています。ぜひこの機会に、働きながら免許や資格が取得できる通信教育にチャレンジしてみませんか。

入学説明会・入学個別相談はオンラインにて開催いたします。各回事前予約制となり、定員に達した場合は受付終了となります。詳細はホームページ <https://tk.seitoku-u.ac.jp> でご確認ください。

● オンライン入学説明会(予約制)

入学説明会	8/13(日)	9/10(日)	10/1(日)
	各日 13:00 ~ 13:45		
公認心理師 入学説明会	8/20(日)	9/10(日)	10/1(日)
	各日 11:00 ~ 12:10		

・ご予約は、通信教育部HP(入学説明会ページ)から30日前から当日2日前の23:59までにご予約ください。

※電話相談は上記日程以外にも【平日 9:00-17:00、土 9:00-15:00】の間で予約不要で受け付けております。

● オンライン入学個別相談(予約制)

8/5(土)・8/6(日)・9/2(土)・9/3(日)・9/17(日)・9/23(土)・9/24(日)・10/7(土)・10/14(土)
各日 10:00 ~ 15:00

・ご予約は、通信教育部HP(予約フォーム)から30日前から当日2日前の23:59までにご予約ください。

秋学期生願書受付期間

- ▶ 大学・短大 ~ 10月31日(火)【必着】 ※書類選考のみ
- ▶ 大学院(博士前期課程) B日程: 8月7日(月)~8月21日(月)【必着】 ※8月27日(日)試験

学校説明会関係行事のご案内

※8月から12月までの予定です。詳細及び1月以降の予定につきましては、各校にお問い合わせください。

■ 聖徳大学(女子)・聖徳大学短期大学部(女子) ●お問い合わせ: 0120-66-5531(直通)

オープンキャンパス	▶ 8月6日[日] 10:30~15:00 大学・短期大学開催	▶ 8月20日[日] 10:30~15:00	▶ 9月10日[日] 10:30~13:00
	▶ 10月9日[月・祝] 10:30~13:00	▶ 11月18日[土] 聖徳祭同時開催 10:30~15:00	▶ 11月19日[日] 聖徳祭同時開催 10:30~15:00

出張 オープンキャンパス 静岡県 静岡会場 ▶ 8月26日[土] 10:30~14:30

■ 聖徳大学幼児教育専門学校(女子) ●お問い合わせ: 03-5476-8811(代)

オープンキャンパス	▶ 8月5日[土] 10:00~12:00	▶ 8月19日[土] 10:00~12:00	▶ 8月26日[土] 10:00~12:00
個別相談会	▶ 8月5日[土] 14:00~16:00 ▶ 9月9日[土] 14:00~16:00	▶ 8月19日[土] 14:00~16:00	▶ 8月26日[土] 14:00~16:00

入試説明会 ▶ 8月18日[金] 10:00~11:30 ▶ 9月9日[土] 10:00~11:30

放課後個別相談会	▶ 8月3日[木] 17:00~19:00	▶ 9月14日[木] 17:00~19:00	▶ 9月21日[木] 17:00~19:00
	▶ 10月5日[木] 17:00~19:00	▶ 10月19日[木] 17:00~19:00	▶ 11月9日[木] 17:00~19:00
	▶ 11月16日[木] 17:00~19:00	▶ 12月7日[木] 17:00~19:00	▶ 12月21日[木] 17:00~19:00

学校説明会 ▶ 9月23日[土・祝] 10:00~11:30 ▶ 10月21日[土] 10:00~11:30 ▶ 11月11日[土] 10:00~11:30 ▶ 12月16日[土] 10:00~11:30

■ 光英VERITAS中学校・高等学校(共学) ●お問い合わせ: 0800-800-8442(入試広報室直通)

学校説明会 中学校 ▶ 11月11日[土] 9:30~11:30 ※小学4-5年生対象学校説明会

オープンスクール 中学校 ▶ 8月6日[日] 9:30~11:30 ▶ 8月27日[日] 9:30~11:30
高等学校 ▶ 8月11日[金・祝] 9:30~11:30 ▶ 8月26日[土] 9:30~11:30

部活動見学会 中学校・高等学校 ▶ 9月9日[土] 14:00~ ▶ 10月14日[土] 14:00~

入試説明会 中学校 ▶ 10月9日[月・祝] 9:30~11:30 ▶ 11月25日[土] 9:30~11:30 ▶ 12月9日[土] 9:30~11:30
高等学校 ▶ 10月14日[土] 9:30~11:30 ▶ 11月12日[日] 9:30~11:30 ▶ 12月2日[土] 9:30~11:30

個別相談会 中学校・高等学校 ▶ 11月4日[土] 9:30~11:30 ▶ 11月25日[土] 9:30~11:30 高等学校のみ
▶ 12月23日[土] 9:30~11:30 ▶ 12月24日[日] 9:30~11:30

■ 聖徳大学附属聖徳女子高等学校(女子) ●お問い合わせ: 0297-83-8111(代)

学校説明会 兼 吹奏楽コース説明会 ▶ 9月30日[土] 午前

夏の学校見学会 ▶ 8月6日[日] 午前 ▶ 8月19日[土] 午前

吹奏楽部体験会 ▶ 8月19日[土] 午後 ▶ 8月27日[日] 午前 ▶ 9月23日[土・祝] 午前

吹奏楽部入部希望者対象説明会 ▶ 10月22日[日] 午前

■ 聖徳大学附属小学校(共学) ●お問い合わせ: 047-392-3111(代)

わくわくオープンスクール[予約制] ▶ 8月19日[土] 10:00~12:05

入試説明会[予約制] ▶ 8月26日[土] 10:00~11:30 ▶ 9月9日[土] 10:00~11:30 ▶ 10月28日[土] 10:00~11:30

■ 聖徳大学附属幼稚園(共学) ●お問い合わせ: 047-368-6135(代)

見学会 ▶ 9月14日[木] ▶ 9月15日[金] | 説明会 ▶ 10月18日[水]

■ 聖徳大学附属第二幼稚園(共学) ●お問い合わせ: 047-341-6598(代)

見学会 ▶ 9月11日[月] ▶ 9月12日[火] | 説明会 ▶ 10月16日[月]

■ 聖徳大学附属成田幼稚園(共学) ●お問い合わせ: 0476-26-3371(代)

見学会 ▶ 9月7日[木] ▶ 9月8日[金] | 説明会 ▶ 10月21日[土]

■ 聖徳大学附属浦安幼稚園(共学) ●お問い合わせ: 047-383-9488(代)

見学会 ▶ 9月2日[土] ▶ 9月6日[水] ▶ 10月5日[木] | 説明会 ▶ 10月14日[土]

■ 聖徳大学三田幼稚園(共学) ●お問い合わせ: 03-5476-8819(代)

見学会 ▶ 9月13日[水] ▶ 9月14日[木] ▶ 9月20日[水] ▶ 9月21日[木]

説明会 ▶ 9月8日[金] ▶ 10月10日[火]

■ 聖徳大学八王子幼稚園(共学) ●お問い合わせ: 042-664-0972(代)

見学会 ▶ 9月26日[火]

■ 聖徳大学多摩幼稚園(共学) ●お問い合わせ: 042-676-0777(代)

見学会 ▶ 9月16日[土] | 説明会 ▶ 10月13日[金]

令和5年度 大学・短期大学部/後援会・保護者会 開催日程

開催日	時間	内容	場所
9月 3日(日)	12:30	新潟地区支部総会・保護者会	長岡: ホテルニューオータニ長岡
9月 10日(日)	12:30	甲信地区支部総会・保護者会	長野: ホテル国際21
10月 1日(日)	12:30	東北(北)支部総会・保護者会	仙台: 仙台ガーデンパレス
10月 8日(日)	12:30	東北(南)支部総会・保護者会	郡山: ビューホテルアネックス
10月 15日(日)	12:30	静岡県支部総会・保護者会	静岡: ホテルアソシア静岡
10月 22日(日)	12:30	東京地区・茨城県支部総会・保護者会(合同開催)	聖徳大学
10月 29日(日)	12:30	北関東支部総会・保護者会	大宮: JA 共済埼玉ビル
11月 5日(日)	12:30	九州・沖縄地区支部総会・保護者会	那覇: ホテルJALシティ那覇
11月 26日(日)	12:30	千葉県支部総会・保護者会	聖徳大学

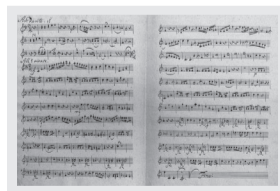
特別展覧会 聖徳学園 創立90周年記念 聖徳学園所蔵名品展

東京聖徳学園は、昭和8(1933)年、東京市大森区(現大田区)新井宿に聖徳家政学院と新井宿幼稚園を開設し、本年で創立九十周年になります。学園は創立者、川並香順・孝子両先生と、その後を引き継いだ川並弘昭先生により、一貫して幼稚園から大学院に至るまでの幼児教育と女性教育に力を注ぎ今日に至りました。

学園創立90周年を記念し、本学の所蔵コレクションの中から貴重な名品を特別に公開することになりました。藤田嗣治の作品、大和絵の画風で描かれた奈良絵本絵巻、著名作曲家の自筆楽譜、重要無形文化財保持者が制作した陶磁器から、名品を展示公開します。



奈良絵本・絵巻《敦盛絵巻》江戸時代前期



フランツ・シューベルト《マニファコルト》ハ長調 第2オーボエのパート譜(D.486)



十三代 今泉右衛門《色鍋島桐絵皆具》

開催中 ~ 11月30日[木] 午前9時~午後5時

聖徳博物館 聖徳大学1号館8階 休館日: 日曜日・祝日・学事日程による

読者の声

ご意見・ご感想の宛先

学園広報誌聖徳フラッシュをお読みいただき、ありがとうございます。今後とも内容の充実にも努めてまいりますので、ぜひ皆さまのご意見・ご感想をお寄せください。
(郵送) 〒271-8555 千葉県松戸市岩瀬550 東京聖徳学園「聖徳フラッシュ」係まで
(インターネット) <https://www.seitoku-u.ac.jp/inquiry/>

学校法人

東京聖徳学園

聖徳フラッシュ 第127号
発行人/川並 弘純 編集/総務課

〒108-0073 東京都港区三田3-4-28
TEL.03-5476-8811(代)

23.8.1 ret (9.0)

セイトクの派遣会社だから安心

派遣登録募集中!! 幼稚園教諭、保育士、一般事務 お気軽にご連絡ください

セイワコーポレーション
東京都港区虎ノ門1-1-20

0120-525-126 般 13-300726
13-ユ-300913